

東日本大震災から12年 防災に向けた思いを新たにす

東日本大震災発生から12年が経過しました。多くの方が被災され、その影響は今もなお続いています。私たちは、被害の甚大さや貴い犠牲を思い起こし、防災に対する意識を高める必要があります。

震災の被害は計り知れず、多くの方が亡くなられたことは言うまでもありません。被災地では今でも、住宅の復旧や生活基盤の再建に向けた取組が続けられています。また、原発事故による放射線汚染の問題が今もなお残っており、解決に向けた取組が求められています。

地震や津波だけでなく、自然災害や事故など、様々なリスクが存在します。こうしたリスクを考慮し、日頃から防災に対する意識を高め、備えを整えておくことが求められます。災害時には、自分自身や家族の安全を確保することが最優先です。それには、災害発生時にどのような行動をとるか、家族で話し合っておくことが大切です。また、災害に備えて、防災グッズの準備や避難経路の確認を行っておくことも必要です。

被災地の方々が、一日も早く元の生活を取り戻せるように、そして同じような災害の際に少しでも被害を減らすことができるよう、私たちは今一度、防災に対する思いを新たにす必要があるのではないのでしょうか。

ご家庭でもマイタイムラインを作ってみませんか？

「くまもとマイタイムライン」の内容を参考に、家族での防災対策を進めるためのマイタイムライン作成をおすすめします。「くまもとマイタイムライン」は、熊本県が公開している防災情報のポータルサイトです。マイタイムラインの作成方法など詳細に説明されています。すでに、子供たちは学校の授業で簡単なマイタイムラインを作成しております。ご家庭でも「くまもとマイタイムライン」を参考にマイタイムラインを作ってみましょう。

家族でマイタイムラインを作成することで、災害発生時に家族全員が冷静に行動することができます。具体的には、災害発生時の連絡先をリストアップすることや、避難先や避難時に必要な荷物を準備することなどが挙げられます。

また、台風や洪水などの災害に備えるためには、災害発生前からの準備が大切です。例えば、避難場所の確認や水の貯蔵容器、非常食の用意が必要です。家族での話し合いを通じて、どのような準備が必要かを確認し、適切な備えをしておきましょう。

皆さんもぜひ、家族でのマイタイムライン作成を検討してみてください。



くまもとマイタイムライン
ホームページへのリンク



八代総合防災マップ